

1 さぬきうどん

山越うどん

から上がったばかりの茹でたてアツアツ麺に、生卵とだしをからめて食べる「かまたま」発祥の店。和製カルボナーラとも称される「かまたま」は、半熟になった玉子がほどよくうどんに絡み、のど越しが格別だ。朝9時の開店と同時に行列ができる超人気店だが、どんなに長蛇の列ができて、営業時間内は売り切れにしないという主人の心意気もうれしい。



詳しくは付録①さぬきうどん便利帖参照



名水仕込みのツルンと舌触りのいい金揚げ麺

うどんのだしはセルフスタイルでかける

ちくわ天やじゃがいも天などトッピングも充実

参道のみやげ物店で借りた杖も便利

1日目 さぬきうどんに始まり、こんぴらさん、道後温泉へ

みなから、785段の石段をのぼって御本宮へ。しあわせの黄色いお守りをゲットしたら、再び車に戻って、道後温泉まで、約2時間のロングドライブへ出発。日本最古といわれる天下の名湯でドライブの疲れをほっこり癒そう。

2泊3日で四国をぐるりと一周するドライブのスタートは、さぬきうどんから。日本で一番小さい香川県内に、800軒以上あるといわれるさぬきうどん店の中でも、朝から行列が絶えない名店として知られる山越うどんへ。ワンコインでお釣りがくる名物の「かまたま」でエネルギーをチャージした後は、一生に一度はお参りしたいこんぴらさんへ向かう。参道沿いのみやげ店や話題のこんぴらアートを楽し

コースチャート

1日目 瀬戸中央自動車道or神戸淡路鳴門自動車道で香川県へ。坂出ICから国道438号・国道32号経由で約30分。

1 さぬきうどん(山越うどん) 国道377号・国道32号経由で約30分

2 こんぴらさん 国道319号経由で高松自動車道善通寺ICへ。松山自動車道松山ICで下り、国道33号経由で道後方面へ。約2時間。

3 道後温泉

2日目 道後温泉

4 松山観光

坊っちゃん列車 伊予鉄道道後温泉駅から坊っちゃん列車で大街道へ。

松山城・萬翠荘など

道後から国道33号経由で松山ICへ。松山自動車道・高知自動車道で高知ICへ。高知ICから県道44号経由で桂浜へ。約2時間30分。

5 桂浜(坂本龍馬像)

県道44号経由で高知ICへ。高知自動車道大豊ICで下り、国道32号経由で祖谷方面へ。約2時間。

6 祖谷温泉

3日目 祖谷温泉

車で約15分

7 かすら橋

県道32号・45号、国道32号経由で徳島自動車道井川池田ICへ。徳島ICで下り、国道11号、28号、県道11号経由で鳴門へ。約2時間30分。

8 鳴門のうず潮

鳴門から神戸淡路鳴門自動車道で本州方面へ。

ドライブアドバイス

飛行機で四国へ入る場合、高松空港でレンタカーを借りて、徳島空港で返却するのがベスト。時間に余裕があれば、最終目的地の鳴門から高松空港まで、車で1時間30分程度なので、高松空港でレンタカーを返却すれば乗り捨て料金がかからない。

海あり、川あり、うどんあり! 四国観光のハイライトを数珠つなぎ

2泊3日

四国の旅 ゴールデンコース

四国へ行くなら、ここだけはハズせない「ベストオブ 四国」を2泊3日で回る王道ドライブコース。四国四県のハイライトを網羅した欲張りプランを楽しもう!



安くておいしいさぬきうどんに大感激!

憧れのヒーロー龍馬にも会いたい!



2 こんぴらさん

全 国の海の神さま金刀比羅神社の総本宮。讃岐のこんぴらさんとして古くから栄え、長い石段が続く表参道には昔ながらのみやげ店が軒を連ねる。こんぴらさんは参道口から御本宮まで785段、奥社まで1368段の長い石段でも有名。表参道には、あまりの立派さに、森の石松が御本宮と間違えて刀を奉納して帰ったといわれる「旭社」や、円山応挙の襖絵が常時公開されている「表書院」など、文化財が多く、芸術品の宝庫としても名高い。

→本文P30参照

大きな白い傘の下で鮎を販売する五人百姓

参道沿いでこんぴらみやげを探してみよう



4 松山観光

まつやまかんこう

山出身の俳人・正岡子規が「春や昔十五万石の城下かな」と詠んだ松山は、松山城や道後温泉など、多くの名所・旧跡が点在する城下町。市内中心部を路面電車や坊っちゃん列車が走り、レトロな雰囲気を漂わせる一方で、四国最大の都市の顔ものぞかせる。夏目漱石の小説『坊っちゃん』や、平成21年から3年にわたって放送中のスペシャルドラマ『坂の上の雲』の舞台としても注目を集める文学の町でもある。

坊っちゃん列車

夏目漱石が小説『坊っちゃん』の中で「マッチ箱のような汽車」と描いた蒸気機関車を復元。汽笛を鳴り響かせ、白い煙をはきながら松山城下を走っている。

→本文P52参照



車内は明治そのまのレトロな雰囲気

明治時代のレトロな車内を再現した坊っちゃん列車。道後温泉駅前の放生園にある坊っちゃんカラクリ時計

萬翠荘

大正11年(1922)に旧松山藩主の子孫が別邸として建築したフランス風の洋館。裏山には、漱石ゆかりの恵陀佛庵が復元されている。

→付録②P12参照



愛媛県内で最も古い鉄筋コンクリート造りの洋館

P8へつづく!



階段踊り場のステンドグラスも見事



松山城

標高132mの勝山山頂に、加藤嘉明が慶長7年(1602)から20年以上の歳月をかけて築城。天守からは、瀬戸内海が一望できる。

→本文P52参照



道後温泉駅から電停大街道まで電車約10分

標高132mの松山城天守までは壮大な石垣が続く

NHKドラマで注目! 坂の上の雲ミュージアム

司馬遼太郎の小説『坂の上の雲』をテーマとしたミュージアム。松山出身の三人の小説の主人公たちの生きざまや、小説の舞台となった明治時代の風景・風俗を、貴重な直筆資料、映像、パネル、復元模型などで分かりやすく紹介している。三角形の形状がユニークな建物の設計は、世界的建築家の安藤忠雄氏。2階のミュージアムカフェからは萬翠荘の眺望が楽しめる。

→付録②P12参照



2日目

坊っちゃん列車で市内観光、龍馬像の桂浜、祖谷温泉へ

撮った後は、再び高速道路を経由して祖谷溪へ。平家の落人伝説を今に伝える祖谷地方は、剣山系の山並みに抱かれ、今なお秘境の雰囲気色濃く残す。祖谷溪の断崖にたたずむ温泉自慢の宿に一泊し、身も心もリフレッシュしよう。

3 道後温泉

どうごおんせん

日本最古の温泉といわれ、万葉集や日本書紀に「伊予の湯」と記されるほどの歴史を誇る道後温泉。温泉街のシンボルである道後温泉本館は、明治27年(1894)に建築された木造三層楼の大衆浴場で、国の重要文化財に指定されている。夏目漱石ゆかりの「坊っちゃんの間」や皇室専用のお召湯「又新殿」など見どころも多い。名湯を楽しんだ後は、観光人力車に乗って、歴史ある湯の町を巡ってみよう。

→本文P48参照



湯上がりは浴衣に着替えお茶で一服

観光人力車で道後の名所巡りも楽しめる

木造三層楼の建物は国指定の重要文化財



1日目終了

2泊3日 四国の旅 ゴールデンコース

前ページの続き

道後温泉はミシュラン三ツ星観光地だよ



道後温泉本館前は絶好の記念撮影スポット



券売所で好みの入浴コースを選ぶ

浴衣で湯上がり美人気分を満喫!



神の湯二階席コースのお茶とせんべいのサービス

勾欄越しに湯の町を眺めてみよう

かずら橋

野生のシラクチカスラで編まれた全長約45m、幅2mの吊り橋。一歩足を踏み出すとギンギンと橋が揺れ、スリル満点だ。平家の落人が、追手が迫れば断ち落とせるように、架けたと伝えられ、橋を渡った先には、平家の落人たちが琵琶を奏でて都での暮らしを懐かしんだといわれる琵琶の滝がある。周辺には、名物のでこまわしや祖谷そば、アメゴの塩焼きなど、山里の郷土料理が味わえる茶店もある。

→本文P153参照



↑橋板のすき間からは下を流れる激流が見える

↑祖谷川の上空に架けられた吊り橋

ゆらゆら揺れる橋はスリル満点!



↑日本三奇橋の一つで、国指定重要文化財

鳴門のうず潮

なるとのうずしお

大鳴門橋のたもとで起こる鳴門のうず潮は、世界三大潮流の1つに挙げられるほどのスケールを誇る。うず潮の見頃は、満潮時と干潮時の2回。観潮船乗り場や観光案内所で入手できる潮見表を参考に、その時間の1時間半前後が狙い目だ。鳴門公園には、うず潮が望める展望台や遊歩道が整備されており、大鳴門橋遊歩道渦の道からは、ガラス越しに迫力満点のうず潮を見下ろすことができる。

→本文P138参照

海上散歩でうず潮を上から眺めてみよう

↑45m下に渦巻く激しい潮流に足がすくむ



↑大鳴門橋の橋桁に設けられた約450mの遊歩道



↑渦の道の顔出しパネルで記念撮影

↑春・秋の大潮時には直径20m以上の大きな渦が見られることも

3日目

かずら橋から鳴門のうず潮、橋から橋へ

ホテルを出発し、かずら橋へ。小便小僧の像が立つ七曲付近は、カーブが連続するのので、対向車に充分注意しながら運転しよう。祖谷川の上空14mに架かるかずら橋は、シラクチカスラを編んだ昔ながらの工法で架けられており、二足ごとにゆらゆらと揺れ、スリル満点だ。かずら橋周辺には、祖谷そばや、でこまわしなど、素朴な祖谷の口

ーフードが味わえる食事処も多い。祖谷グルメを満喫した後は、旅の最終目的地の鳴門へ向かう。徳島自動車道と神戸淡路鳴門自動車道は繋がっていないので、徳島ICで高速道路を下りて、一般道を走行しよう。大鳴門橋のたもとにある鳴門海峡は、世界屈指のうず潮が見られる名所。観潮船や鳴門公園の展望スポットから、自然のダイナミズムを感じてみよう。

ここにも立ちろう!

小便小僧の像

宿からすぐの七曲の断崖にたつかわいいう小便小僧。昔、旅人たちがここから用を足して度胸試しをしたことに由来する。



四国の旅

泊3日

桂浜

かつらはま

前ページの続き

太平洋に面して弓形に弧を描いて広がる桂浜は、よさこい節「月の名所」と詠われた高知有数の景勝地。高台には、激動の幕末を駆け抜けた坂本龍馬の銅像や、龍馬直筆の手紙など、さまざまな資料を収蔵する高知県立坂本龍馬記念館など、龍馬ファン必見の名所が集まる。かわいいイルカショーが人気の桂浜水族館や、土佐犬の闘犬場といった立ち寄りスポットも多く、大勢の観光客で賑わう。

→本文P113参照



↑高台に立つ坂本龍馬像に会いに行こう



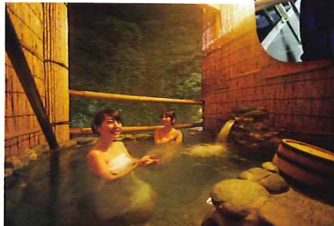
↑絶え間なく太平洋の荒波が打ち寄せる桂浜

祖谷温泉

いやおんせん

剣山系の1000m級の山々と険しい渓谷に守られ、今なお手つかずの自然が残る祖谷。日本三大秘境の一つに数えられ、檀ノ浦の戦いに敗れた平家の落人伝説も残る。有名なかずら橋をはじめ、琵琶の滝や平家屋敷など、平家ゆかりのスポットが点在する。徳島きっての温泉郷としても知られ、ダイナミックな渓谷美が楽しめる渓谷沿いの露天風呂で温三昧が楽しめる。

↑こんこんと湧く乳白色の湯が肌に心地よい



2日目終了

泊まりはココ!

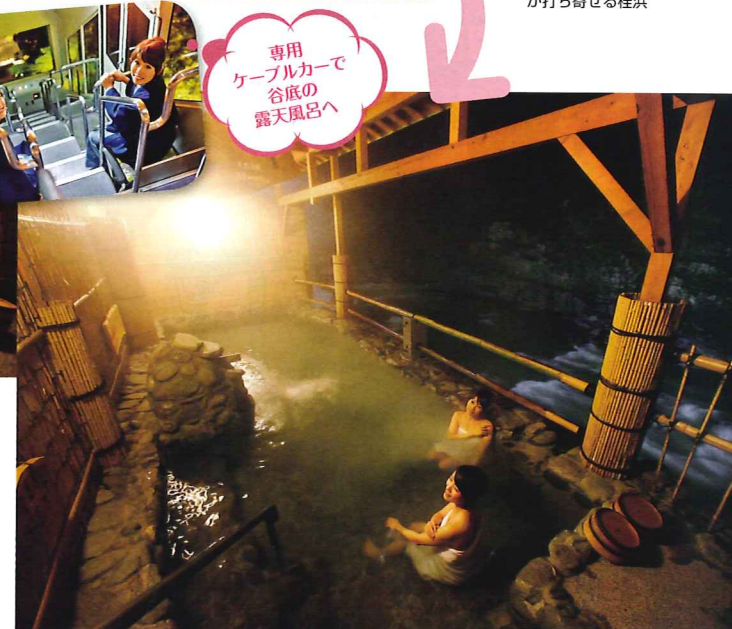
和の宿ホテル祖谷温泉

0883-75-2311 map P154B3

祖谷溪の断崖絶壁にたたずむ一軒宿。ケーブルカーで谷底に下り、源泉かけ流しの露天風呂にゆったり身を浸そう。**DATA**◎好市池田町松本367-2 ◎JR阿波池田駅から四国交通バス出合經由かずら橋行きで55分、祖谷温泉前下車すぐ ◎1泊2食付1万7370円～ ◎IN14時/OUT10時 ◎37台



↑旬の恵みを生かしたスローフードを堪能



↑祖谷川にせり出すように作られた露天風呂



もっと島旅気分を
味わいたい

コース4

しまなみ海道・今治コース

ドライブ アドバイス

2日目の松山観光の後、今治・しまなみ海道方面へ。しまなみ海道の絶景が楽しめるビュースポットや歴史スポットを車で巡り、再び今治市街地へUターン。今治周辺で1泊しよう。

しまなみ海道沿線では橋と島が織り成す絶景が楽しめる(本文P66)

1 しまなみ海道

ところミュージアムおおしま

テラスからの眺望も最高!

ところミュージアムおおしま

県道51号・21号経由で約15分

現代アートとしまなみの絶景が楽しめる美術館(本文P68)



おおやまづみんじや

大山祇神社

県道21号、西瀬戸自動車道、国道317号経由で約45分



古くから海・山の神として信仰を集める大山祇神社(本文P67)

いまばりじょう

2 今治城

産業道路経由で約3分

築城の名手・藤堂高虎が築いた今治城(本文P70)



イマバリタオル

3 imabari towel

日本有数の生産量を誇る今治タオルが豊富に揃う(本文P71)



高松港から船で
小豆島へ

コース3

高松・小豆島コース

ドライブ アドバイス

1日目のさぬきうどんの後、高松方面へ。高松市内の名所を回り、高松港からフェリーで約1時間の小豆島へ渡ろう。小豆島で1泊して、島内に点在する観光スポットを巡ろう。

りつりんこうえん

1 栗林公園

国道11号・30号経由で約5分



高松市内のさぬきうどん店にも立ち寄ってみよう

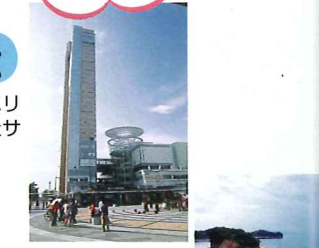
約100年かけて築いた大名庭園(本文P16)

サンポートたかまつ

2 サンポート高松

高松港から小豆島急行フェリー等で土庄港まで約1時間

高松のベイエリアに整備されたサンポート高松(本文P18)

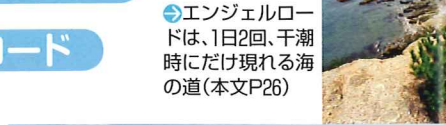


しょうどしま

3 小豆島

エンジェルロード

国道436号経由で約20分



エンジェルロードは、1日2回、干潮時にだけ現れる海の道(本文P26)

地中海をイメージした公園。風車は絶好の撮影ポイント(本文P24)

みちのえき しょうどしまオリブこうえん

道の駅 小豆島オリブ公園

国道436号・県道28号経由で約25分



にじゅうしのひとみえいがむら

二十四の瞳映画村

昭和初期の町並みを再現した二十四の瞳映画村(本文P25)



オプション4コース

モデルコースだけでは回りきれない名所をめぐる4つのオプションコースを用意。日程にあわせてアレンジしてみよう。

高知を東へ、
弥太郎の安芸、灯台の室戸へ

コース2

安芸・室戸コース

ドライブ アドバイス

2日目の桂浜と3日目の祖谷溪から橋観光を入れ替え、3日目桂浜のあと安芸・室戸方面へ向かう。室戸あたりで宿泊。海岸沿いのロングドライブとなる。

1 野良時計

車で約5分

のらどけい

田園風景の中にたたずむ野良時計(本文P120)



2 岩崎弥太郎銅像

国道55号・493号経由で約45分

安芸の農家に生まれた岩崎弥太郎の銅像(付録②P9)



3 中岡慎太郎生家

国道493号・55号経由で約1時間10分

なかおかしんたろうせいか

龍馬とともに活躍した慎太郎の生家(付録②P9)

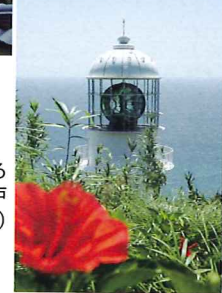


4 室戸岬

徒歩すぐ

むろとみさき

太平洋を見下ろす断崖に立つ室戸岬灯台(本文P122)



5 乱礁遊歩道

らんしょうゆうぼうどう

室戸岬の海岸沿いに続く乱礁遊歩道(本文P123)



キラキラ光る海面がキレイ!

高知を西へ、
最後の清流四万十川、足摺岬

コース1

四万十・足摺コース

ドライブ アドバイス

2日目の松山観光の後、四万十川方面へ。あしずり温泉郷で1泊して足摺観光してから桂浜を目指そう。足摺から高知市内は約150km。長旅になるので休憩はこまめにとりたい。

しまんとがわ(ちんかばし)

1 四万十川(沈下橋)

佐田沈下橋から舟母乗船券売り場まで約20分



四万十川の最も下流に架かる佐田沈下橋(本文P130)

せんば

2 舟母(四万十川観光開発)

国道321号、足摺スカイライン経由で約1時間20分



ゆったりとした四万十川の流にマッチした帆掛け舟(本文P131)

あしずりおんせんきょう

3 あしずり温泉郷

車ですぐ

ラドンを含む良質の温泉が楽しめるあしずり温泉郷

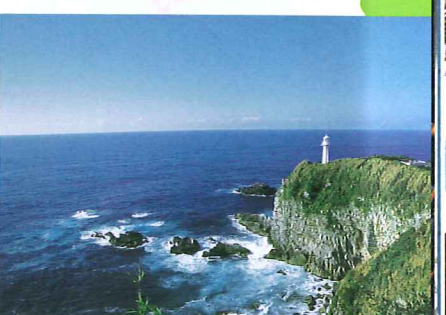


あしずりみさき

4 足摺岬

足摺スカイライン、国道321号経由で約50分

黒潮が打ち寄せる断崖絶壁に立つ足摺岬灯台(本文P124)



たつくし

5 竜串

竜串海岸は長い歳月に磨かれた自然のアート(本文P125)

